

提出
順番

No.
5

令和3年6月17日
午前・午後 3時55分

令和3年6月17日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 荒 貴賀



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
1 コロナ禍における保育所の役割	<p>コロナ禍の下での保育士の業務は、消毒作業や登所・降所の際、保護者の代わりに行う子どもの荷物の整理など、通常の保育業務以上の対応を迫られ多忙化しています。また、保育中の子どもの密を避けるための配慮や手洗いなど神経を使う場面も多くなっています。</p> <p>全国福祉保育労働組合が毎年行っている保育士や栄養士を対象とした、2021年1月のアンケート調査結果では、仕事での心身の疲れについて「とても疲れる」と答えた人が47.8%とほぼ半数に上り、「仕事を辞めたいと思ったことがある」と答えた人は69.7%と、過去10年間で最も高くなっています。</p> <p>子どもの成長・発達の保障と、感染防止対策を両立しなくてはならず、施設を最大限に利用したギリギリの職員配置の下では大変な苦勞があります。加えて全産業平均の7割程度しかないと言われる低い処遇ではいくらやりがいのある仕事であっても続けることができません。保育が抱える構造的な問題が、コロナ禍によりさらに保育士の働き方を行き詰まらせ、離職増の危機を招いています。</p> <p>町内でも感染者がでてくる中で、保育環境の改善を求め以下の点を伺います。</p> <p>①町立保育所の保育士配置において、非正規の割合が6割と高くなっています。保育の諸課題の解決に向けて、独自の保育士配置基準の引き上げと待遇改善に踏み切るべきと考えるが町の認識は。</p>

<p>2 コロナによって我慢が続く子ども達、のびのびと過ごせる学童保育を</p>	<p>②新子育て安心プランでは保育士確保として、短時間勤務保育士の活躍推進を打ち出しました。このような規制緩和策について町の認識は。</p> <p>③コロナなどで休所した際、代替え施設の考えは。</p> <p>④国は医療関係者・介護職には慰労金を出しました。保育士への慰労金はありません。町として支給する考えは。</p> <p>⑤保育所でコロナの感染が確認された際、自宅待機になった家庭への支援は、そして課題は。</p> <p>コロナの感染が広がる中、浮き彫りになったことは、これまで学童保育所が抱えていた課題です。</p> <p>厚生労働省の放課後児童クラブガイドラインでは、学童保育の適正規模を「集団については、おおむね40人程度までとすることが望ましい」、「1放課後児童クラブ最大70人までとする」としていますが、本町では集団の規模を40人以下にできない学童保育所もあります。</p> <p>入所児童が増えたことによる大規模化で施設が手狭になっていることに加え、コロナ禍で社会的距離を確保するなど感染防止対策の必要性もあることから、改善を図る必要があると考えます。</p> <p>子どもの安全を守り、保護者が安心して働ける環境を求め、町がこの状況をどのように改善するのか伺います。</p>
--	---